

幽体離脱しちゃったみたい。vol.2

～愛とシミュラクル～

【会期】2014年4月15日|火|-5月25日|日|

【時間】11:00～19:00(月曜休廊)

【入場料】無料

【会場】〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17

1F EARTH+ GALLERY 2F/gallery COEXIST-TOKYO

※イベント開催時に展示の一部がご覧になれなくなる場合がございますので、イベント時間帯を避けてご来場下さい。展示状況はお気軽にギャラリーにご確認ください。5月5日は休廊日となります。

【出品作家】

佐藤哲至(美術)、早瀬交宣(美術)、
たけのこうしろう(イラスト)、越田乃梨子(映像)、
坂本洋一(メディアアート)

【ゲスト作家】伊東歌織(振付家・ダンサー)

村山政二郎(打楽器奏者)ほか

【監修】塚本純久(ユング心理学分析家)

【主催】EARTH+ GALLERY / gallery COEXIST-TOKYO

<http://earth-plus.net/>

<http://coexist-tokyo.com/>

【企画】てんせんめん

<http://tensenmen.com>

この度、EARTH+ GALLERY / gallery COEXIST-TOKYOでは、取扱作家の佐藤哲至による企画展を行います。本展は昨年引き続き、イムネ申(早瀬交宣・佐藤哲至)、映像作家の越田乃梨子、80年代のマンガ・アニメを再現するイラストレーターのたけのこうしろうに加え、メディアアーティストの坂本洋一、コンテンポラリーダンス女性グループ、「アマキオト」の代表である伊東歌織、打楽器奏者の村山政二郎を迎え、展示とイベントを構成します。

美術の社会的役割の一つに、「問題の可視化」があります。自身の内面や、社会制度には全体を見通せるものが驚くほど少なく、そのほとんどは「みえるものの断片」か「目にはみえないもの」で構成されています。芸術家はそれらをイメージの力を駆使することで、問題を可視化し、対象化することができます。この可視化にとって不可欠なのが問題を俯瞰的にとらえる視点であり、幽体離脱的な態度だと考えています。

「幽体離脱しちゃったみたい。」では、一貫して「見えないもの」の影響をテーマにして、毎年、企画を構成して発表しています。昨年、初回は展示コンセプトを「幽体離脱」として、「現実と精神の分離」が社会システムに及ぼす影響をアート作品、心理学や技術の立場から探りました。本来不可分であったはずの芸術と宗教の関係性や、現代技術が生み出し続けるファンタジーの功罪を、「精神性を伴わない物質的な世界のあり方」として浮き彫りにしました。



今回はこれらの問題設定から一歩進めて、「愛とシミュラクル」を取り上げています。「愛」は、方向性をもった精神的なエネルギーであり、宗教愛、自己愛、博愛、性愛、憎悪、生霊や怨念まで様々な形をとります。一方で、社会的な愛の形式も、愛国心、寄付文化、婚活、アイドル、出会い系といったように多岐にわたっています。

文化人類学では、ある土地の伝統文化が滅びてしまった後、後世の人間がそれを惜しんで復活させた「まがいの文化」を意味する用語を「シミュラクル」と言いますが、社会化された愛の形式はシミュラクル的にもみえます。「愛」という言葉に疑問を抱きつつ、「愛」を希求する欲望に満ちている現代社会の「愛のかたち」を探ります。

また会期中は多数の講座、イベントを開催します。多彩なゲストを迎え、アーティスト自身が表現の現在を楽しく、かつ真面目に語ります。

■この展示に関するお問合せ■

EARTH+ GALLERY /gallery COEXIST-TOKYO

〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 2F

TEL : 03-5809-9949

MAIL : info@coexist-tokyo.com

担当 : 島津 / 山中

幽体離脱しちゃったみたい。Vol.2

おいしい食事、お酒とともに、知性と感性と出会いの場で、一緒にアートのお話をしませんか？

東西線木場駅から徒歩5分の場所にあるEARTH+ GALLERY / gallery COEXIST-TOKYOでは2013年より「幽体離脱しちゃったみたい。」というちょっと不思議な名前の展覧会イベントを開催しています。今年で2回目の展覧会となります。この展覧会に関わる人たちは実に多様です。画家、アニメーション作家、心理学分析家、ギャラリスト、編集者、イラストレーター、振付家、ダンサー、工学技術者、音楽家、デザイナー、プログラマー、写真家、映像作家、メディアアーティスト、教育者、フードコーディネーター。そのすべてを「アーティスト」と呼んでいます。ハイカルチャーとサブカルチャーの垣根がない、ミクストカルチャーの創造的空間です。「接点を探し続けること」がこの展示の目的であり、自由な雰囲気の中で、アートに関する「素朴な疑問」についてそれぞれの立場で語り合い、難しい現代の「アート」をポジティブな態度と分かりやすい言葉で解きほぐしていきます。アートの守備範囲は人間の営みすべてに行き渡っています。難しい予備知識はいりません。少しでもアートに興味があれば、この場所でその疑問をぶつけてみて下さい。

愛とシミュラークル

前回はキーワードとして「幽体離脱」をとりあげ、「見えないもの」を遠ざける現代社会を掘り下げ、イメージ、精神、時代性といった不可視の存在をあらためて確認するような内容を展開しました。

そして今回はキーワードとして「愛とシミュラークル」を取り上げます。「愛」は、方向性をもった精神的なエネルギーであり、宗教愛、自己愛、博愛、性愛、憎悪、生霊や怨念まで様々な形をとります。一方で、社会的な愛の形式も、愛国心、寄付文化、婚活、アイドル、出会い系といったように多岐にわたっています。

文化人類学では、ある土地の伝統文化が滅びてしまった後、後世の人間がそれを惜しんで復活させた「まがいもの文化」を意味する用語を「シミュラークル」と言いますが、社会化された愛の形式はシミュラークル的にもみえます。「愛」という言葉に疑問を抱きつつ、「愛」を希求する欲望に満ちている現代社会の「愛のかたち」を探ります。(佐藤哲至)



靈感少女、ゆっこの部屋。展示のマスコットキャラクター。



80年代で時間が止まったような部屋で、懐かしい！という声が飛び交う。



ハムロボットと戯れる人たち。口々に「こいつは一体何だ？」という。



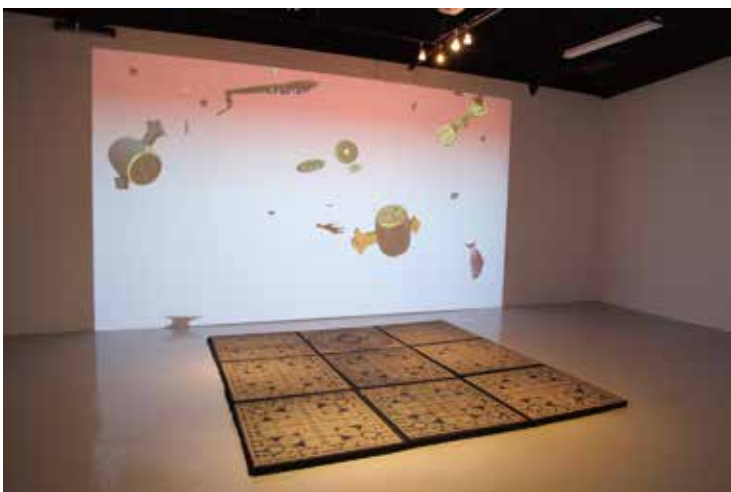
ユング心理学分析家による盆石のワークショップ。



講座の後は、フードコーディネーターの料理に舌鼓、会話も弾む。



映像の中に入り込むインスタレーション作品でダンサーが踊る。



CGで作られた神話の映像と、機械で作られた砂曼茶羅。



編集者とイラストレーターがその場でマンガを描き上げる。

「アーティストと過ごす休日」(ワンドリンク付き)

以下はお得な予約価格です。ぜひ電話、メールにてご予約ください！

※当日券は 100 円 UP となりますのでご注意ください。

●「夢 de 逢いま show」レセプション & ファンディングパーティー (無料)

4 月 19 日 (土) 18:00 ~ アマキオト、ナマニエルボーイズほか

●アーティストトーク

○「白昼夢の作り方〜極私的映像制作論その 2」越田乃梨子

5 月 10 日 (土) 18:00 ~ 20:00 (1500 円)

●ワークショップ

○「ネ申言舌をつくる〜コラージュの物語制作」早瀬交宣・佐藤哲至

4 月 29 日 (火) 昭和の日 13:00 ~ 16:00 (1500 円)

○「ドキドキするオブジェクトをつくる〜アクチュエータとリンク機構」

サカモトサトウ (仮) + 大森誠の工作 WS

5 月 11 日 (日) 13:00 ~ 16:00 (3000 円材料費込み)

○「いろいろな局面における『触れる』をやってみて考える一日」

村山政二郎 (打楽器奏者) 予約制です。(予約が 5 人以上で開催)

4 月 20 日 (日) 13:00 ~ 16:00 (1500 円)

5 月 04 日 (日) 13:00 ~ 16:00 (1500 円)

○「恋の処方せん〜ダンス編」伊東歌織

4 月 26 日 (土) 14:00 ~ 17:00 (1500 円)

●イベント

○村山政二郎コンサート

4 月 16 日 (水) 19:00-20:00

Juan Parra + Toma Gouband + 村山政二郎コンサート (1500 円)

5 月 04 日 (日) 18:00-20:00 村山政二郎ソロコンサート (1500 円)

○アマキオトダンスの実験 vol.3 『四角形のゆううつ』

5 月 17 日 (土) 開演 15:00 ~ (2500 円)

5 月 17 日 (土) 開演 18:30 ~ (2500 円)

5 月 18 日 (日) 開演 15:00 ~ (2500 円)

※以上すべてに参加できるフリーチケット「特急券〜黄泉の国行き」12000 円

(ドリンク券 8 枚付きで 2500 円以上お得！)

4 月 16 日までにお問い合わせください。

関連イベント

●ギャラリーイベント

4 月 26 日 (土) 18:00 ~ アート交流会 「EARTH + 漫画を考えてみた祭り」

出演：たけのこうしろ、ヨウナコウサギウグイス、佐藤悠 他

参加費 500 円

●講座のおしらせ (毎週水曜日、全 7 回) 10000 円

(1500 円の体験受講もできます)

4 月 9 日 (水) ~ 5 月 21 日 (水) 19:00-21:00

「イトクの絵解き〜自分の中のアートに出会う」

ユング心理学分析家：塚本純久 アーティスト：佐藤哲至

※ドリンクはソフトドリンク。アルコールは + 100 円になります。

※イベント開催時に展示の一部がご覧になれなくなる場合がございますので、イベント時間帯を避けてご来場下さい。展示状況はお気軽にギャラリーにご確認ください。

※ 5 月 5 日は休廊日となります。

■展示、イベントに関するご予約・お問い合わせ■

EARTH+ GALLERY / gallery COEXIST-TOKYO

〒 135-0042 東京都江東区木場 3-18-17

TEL : 03-5809-9949

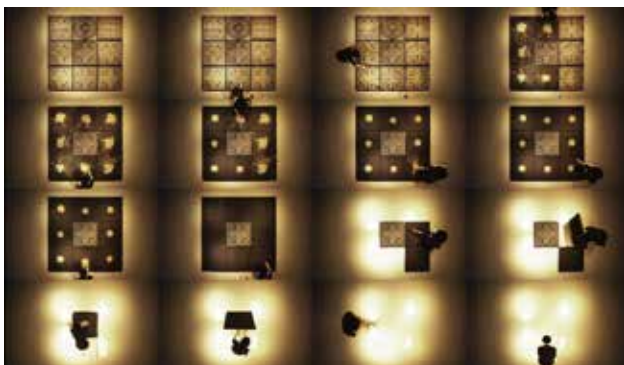
MAIL : info@coexist-tokyo.com

URL : <http://www.coexist-tokyo.com>

担当：島津 / 山中



佐藤哲至「Constellation#01-MANDARA」(2013年)



佐藤哲至「Constellation#01-MANDARA-deconstruct」(映像、2013年)



早瀬交宣「お寺・ア・ラ・モード extended ver.」(2013年)



早瀬交宣「浮遊体一floaters」(極小美術館、2014年)

●佐藤哲至(さとう・てつじ)

1981年茨城県生まれ。人間を認知する為の要素を極限まで切り落とした映像作品「blank」(2008-)や、音声認識で言語の論理を嗅ぎ付ける1000匹の虫「論理虫の標本箱」、自作の砂プリンタによって制作された砂曼荼羅「constellation#01-MANDARA」など。最近では社会制度と芸術活動の間に注目して記号表現の分析を続けている。美術活動組合イムネ申。サカモトサトウ(仮)、てんせんめん代表。

【略歴】

- 2006 武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業
- 2008 東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了
- 2008-2012 武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科助手
- 2012 武蔵野美術大学、東京造形大学非常勤講師
- 2013- 東京工科大学、東京造形大学非常勤講師

【発表】

- 2008 「blank2008」NTT インターコミュニケーションセンター
- 2010 「blank2010」千葉県立現代産業科学館
- 2011 「これはライトではないし、本でもまたない」Art Space Kimura P ギャラリー
- 2012 「論理虫の標本箱」Art Space Kimura P ギャラリー
- 2012 「カラヤンの食卓」gallery COEXIST-TOKYO
- 2013 「cause and effect」清川泰次記念館区民ギャラリー

●早瀬交宣(はやせ・ともり)

1975年岐阜県生まれ。地続きに見えるひとつの物語も実に細々した要素のつながり合わせで、何よりも、私たち自身が様々なかけらの集積である、という観点から、コラージュ技法を切り口にして、「もの見えかた」や「時間」、「記憶」をテーマにした映像制作を行う。

【略歴】

- 2006 武蔵野美術大学 造形学部視覚伝達デザイン学科 卒業
- 2006-2008 映像制作会社勤務
- 2008-2012 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科研究室 助手
- 2012- 武蔵野美術大学、東京工科大学非常勤講師

【展示・上映履歴】

- 2009 「複眼思考 - Looking through a compound eye -」art space kimura ASK? (東京)
- 「AIAF(オーストラリア国際アニメーションフェスティバル)」Forum 6 Cinema (Wagga Wagga, オーストラリア)
- 「MIAF(メルボルン国際アニメーションフェスティバル)」ACMI (Melbourne, オーストラリア)
- 「SIAF(シドニー国際アニメーションフェスティバル)」シドニー工科大学 (Sydney, オーストラリア)
- 「EKSJO ANIMATION FESTIVAL」エークシェー市内 (EKSJO, スウェーデン)
- 2010 「複眼思考 - Looking through a compound eye -」art space kimura ASK? (東京)
- 2011 「池田山麓現代美術展 2011—宇宙の連環として ①」極小美術館 (岐阜)
- 2012 「複眼思考 - Looking through a compound eye -」art space kimura ASK? P ギャラリー (東京)
- 2012 「池田山麓現代美術展 2012-象の檻」極小美術館 (岐阜)
- 2013 「幽体離脱しちゃったみたい」gallery COEXIST-TOKYO (東京)
- 2013 「Pictoplazma Berlin」BABYLON am Rosa-Luxemburg-Platz (Berlin, ドイツ)
- 2014 「早瀬交宣展」極小美術館 (岐阜)

●イムネ申(いむねも)

2012年にできた佐藤哲至と早瀬交宣を中心とする非申請・非認可の美術活動組合で、活動にルールがある訳ではない。組合員の最近の活動は風船でつくった大仏を天高く上げたり、障子にアニメ目をつけたり、kinectで仏像やバナナをスキャンし、80年代風のCG映像作品をつくるなど。メンバーがたまに増える。

【関連イベント】

- 「ネ申言舌をつくる〜コラージュ的物語制作」早瀬交宣・佐藤哲至
- 4月29日(火) 昭和の日 13:00 ~ 16:00 (1500円)



越田乃梨子「断続教室」(video installation 2013年)

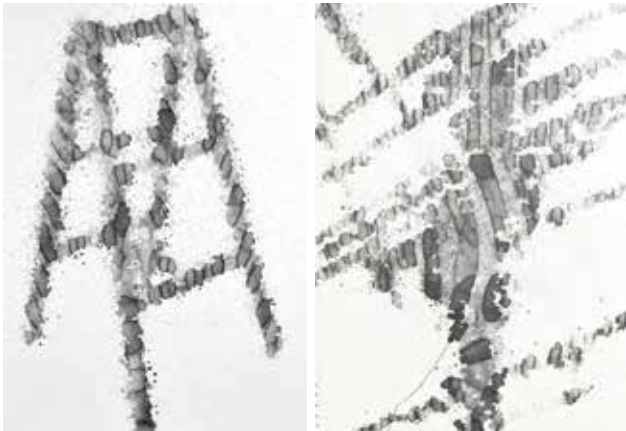


越田乃梨子「夜がしのぶ」(video installation 2012年)



21 スコア

たけのこうしろう「ときめき☆ダイアリー」(マンガ 2010年～)



坂本洋一・佐藤哲至「ハシゴ／電柱」(コンピュータ制御による墨絵 2013年)

●越田乃梨子(こしだ・のりこ)

【制作コンセプト】

1981年生まれ。複数のカメラを用いた独自の撮影手法とシンプルな仕掛けで、ビデオというメディアを強く意識した作品を制作。これまでに、川崎市市民ミュージアムや東京都写真美術館、ICCなどで作品が紹介されている。

【略歴】

2008 東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了

2005 武蔵野美術大学映像学科卒業

【発表】

2012 「遠くの私、側の私」XYZ collective

2010 「エマーゼンシーズ 15 越田乃梨子 “机の上にて”

ICC (NTT インターコミュニケーションセンター)

2010 「第二回恵比寿映像祭 “歌をさがして”」東京都写真美術館

2009 「歪んだ瞬間 - 未来派、構成主義、パウハウス、現代作品から探る -」

川崎市市民ミュージアム

【関連イベント】

○「白昼夢の作り方～極私的映像制作論その2」越田乃梨子

5月10日(土) 18:00～20:00 (1500円)

●たけのこうしろう

【制作コンセプト】

1984年生まれ。ほとんど「女の子として」生きていた子どもの頃「少女の絵ばかり描いていた」という思い出から、自分が小さかった頃(80年代～90年代前半)の少女アニメ・マンガのテイストが感じられるイラストを描くようになりました。

【略歴】

2009 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科卒業

2009-2012 デザイン事務所勤務

2012- 芸能事務所勤務

【発表】

2009 漫画星「ファンシィガール」

2010 ロックンロールニュース「ときめき☆ダイアリー」

2012 an・an「ときめきスイッチをONにしよう!」特集イラスト
ももいろクローバーZ コンサートグッズイラスト

2013 Hanako FOR MEN 連載

2014 Hanako イラスト掲載

【関連イベント】

4月26日(土) 18:00～アート交流会「EARTH+漫画を考えた祭り」

出演:たけのこうしろう、ヨウナコウサギウグイス、佐藤悠 他

参加費 500円

●坂本洋一(さかもと・よういち)

【制作コンセプト】

1982年東京都生まれ。常識、視覚現象など普通と思っていることや、当たり前のようにとらえていることを一度疑ってみることをきっかけに、映像、エンジニアリング、プログラムを通して作品表現行っています。サカモトサトウ(仮)。

【略歴】

2006 東京芸術大学建築学科卒業

2008 東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了

2008-2010 建築設計事務所勤務

2011- ライゾマティクス勤務

【展示・上映履歴】

2006 PocketFilmFestival

2008 OS1 東京芸術大学(横浜)

2009「Media Practice 08-09」Bank Art NYK(横浜)

2009「リニューアル展」武蔵野美術大学美術資料図書館(東京)

2009 5～8月「エマーゼンシーズ! 011」

NTT インターコミュニケーションセンター(東京)

2010 10月「みる!みえる?～錯視から探る視覚のしくみ～」

千葉県立現代産業科学館(千葉)

2013「cause and effect」清川泰次記念館区民ギャラリー(東京)

【関連イベント】

サカモトサトウ(仮)+大森誠の工作WS

5月11日(日) 13:00～16:00 (3000円材料費込み)



伊東歌織「アマキオト」(2014年) photo by kazushi hirota



伊東歌織「オカッパテイル」(2014年) photo by bozzo



村山政二郎ポートレート

●伊東歌織 (いとう・かおり)

【作品コンセプト】

「身体は所詮、お供えもの？」をコンセプトにしたダンスグループ『アマキオト』主宰。日本特有の儀式をヒントに身体を配置させて振付を紡ぎ出すのを得意とする。

【略歴】

1980年千葉生まれ。ダンスカンパニー『time and locus』『輝く未来』の在籍を経て、2010年よりフリー。ダンスのみに留まらず演劇、映像作品にも参加する。伊藤キム、off-Nibroll、GRINDER-MAN、広田淳一、多田淳之介、越田乃梨子、津田道子等の作品に出演。

【発表】

2008 『グルムシ』横浜赤レンガ倉庫(輝く未来主催公演)

2012 『uRu・guLA!!』仙台メディアテーク/鳥取鳥の劇場/アサヒアートスクエア(JCDN主催 巡回公演)

2012 『アマキオト』uma-merdre

2013 『白の差異』廣盛酒造和室(中之条ビエンナーレ)

2013 『オカッパテイル』代官山 plate

【関連イベント】

○「恋の処方せん〜ダンス編」伊東歌織

4月26日(土) 14:00~17:00 (1500円)

○アマキオトダンスの実験 vol.3 『四角形のゆううつ』

5月17日(土) 開演 15:00~ (2500円)

5月17日(土) 開演 18:30~ (2500円)

5月18日(日) 開演 15:00~ (2500円)

●村山政二郎 (むらやま・せいじろう) <http://www.seijimurayama.com/>

【作品コンセプト】

1957年長崎市生まれ。打楽器奏者。主に次の分野で活動。

1、ノンイディオマティック・インプロヴィゼーション(これに関するイディオマティックな調査ならびにワークショップも含む) http://www.mattin.org/recordings/IDIOMS_AND_IDIOTS.html

2、様々な録音物を用いたエレクトロコースティックな作曲、およびインプロヴィゼーションのためのコンセプチュアルな作曲。

3、様々な他の分野とのコラボレーション(ことば、イメージ、オブジェ、身体を媒体に)

【略歴】

東京外国語大学卒。

1982年に灰野敬二とのアメリカツアーから演奏活動を開始。1999-2013年、主にパリ、ベルリンを拠点にヨーロッパで活動。スロベニアで最初のインプロヴィゼーションのフェスティバル Personal and Collective のキュレータを務めた(2010-12) <http://vimeo.com/27210128>

2005年より振付家 Catherine Diverres の音楽を担当。

【発表】

2012 キッズアートキャンプ山形(東北芸工大)、水と土の芸術祭、

2013 中之条ビエンナーレ、渋谷地下水脈、大岡信ことば館(ワークショップ)。

2014 ケベックビエンナーレ、モントリオールの Suoni per il Popolo フェスに参加予定。

【関連イベント】

○「いろいろな局面における『触れる』をやってみて考える一日」

村山政二郎(打楽器奏者) 予約制です。(予約が5人以上で開催)

4月20日(日) 13:00~16:00 (1500円)

5月04日(日) 13:00~16:00 (1500円)

○村山政二郎コンサート

4月16日(水) 19:00-20:00

Juan Parra + Toma Gouband + 村山政二郎コンサート (1500円)

5月04日(日) 18:00-20:00 村山政二郎ソロコンサート (1500円)